平成 27 年度後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会
議事録

日時：平成 28 年 2 月 28 日（日）　11:00～

会場：ホテルメトロポリタン仙台 3 階「曙」

定刻通りに開始。

Ⅰ．東北連合産科婦人科学会役員会

1．議長選出

→規定に従い八重樫先生選出。

2．開会の挨拶

八重樫先生よりご挨拶。
以下八重樫先生による進行。

3．報告事項

(1)新名誉会員該当者、新功労会員推薦者（資料 1）　星合　哲郎

新名誉会員該当者なし。

新功労会員として岩手より松田壯正先生が推薦されている。

→承認された。

(2)日産婦学会専門医制度中央委員会報告（資料 2）　西郡　秀和

西郡先生：

資料 2-1　平成 28 年度申請・審査に関する日程について

H28 年度の専門医試験は例年通り 7 月 23 日 24 日の予定。来年から新プログラムの専攻医が入ってくる。

現行プログラムの専攻医の先生方は例年通りこのまま。

資料 2-2　平成 27 年度の産婦人科専攻医地方委員会別登録状況について

全国で 363 名の専攻医が新規登録され、東北地方では 26 名が新規に登録された。

八重樫先生：

資料 2-1 は例年通り。5/31 までに地方委員会に申請書が提出されるので 6/1～15 の間に各地方委員会で審査。7/23 筆記試験、7/24 面接の予定。

2-2 専攻医登録状況について、東北地方は 26 名→人口当たりでいうと全国平均くらい。

(3)日産婦学会理事会報告（資料 3）　八重樫　伸生

藤森　敬也

資料 3

(1)e 医学会

八重樫先生：

e 医学会について 68 回日本産婦人科学会からシールを配布しないとなっている。医学会カード持参を。忘れた場合は仮カード。各県で周知を。

(2)新専門医制度

八重樫先生：

産婦人科専門研修プログラムは全国で約 100 プログラム提出されており、東北地方は各県 1 個。

5 月 6 月くらいから募集開始して 8 月か 9 月に各県で試験をすることになっている。

いまのところ半々くらいの確率で先送りになる可能性あり。各大学に新入局希望者を集めて試験をする可能性もあるので準備を。

資料 3-1　2016-2019 年度に日本産科婦人科学会専門医更新時期を迎える会員へのお知らせについて

八重樫先生：

この時期専門医を更新される方は従来の学会の認定される専門医制度と専門医機構が認定する専門医制度と二つ出すことが可能。該当される方は早めに提出を。

西郡先生：

必ずしも機構の新しい専門医制度で出さなくてもよいが 4 年後以降は完全に機構の専門医に移行する。先に機構の専門医を申請しても 5 年後以降に取得する際にアドバンテージがある訳ではないことは了承を。

資料 3-2 平成 27 年度の福島県民健康調査「妊産婦に関する調査」について

藤森先生：

妊産婦に関する調査が 27 年 11 月から開始されている。

対象となる方は H26 年 8 月 1 日から H27 年 7 月 31 日まで福島県内の市町村で母子手帳を交付された方。

ご施設で出産された方がいたら調査協力を。現在回収率が 50%くらい。

(4)第 141 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 4）　菊池　昭彦

菊池先生：

H28 年 6 月 18 日 19 日にメトロポリタン盛岡本館で開催予定。

準備状況は特別講演、招請講演、ランチョンセミナー、教育講演を兼ねた指導医講習会の講師の先生方からは正式な演題を提出いただいており、座長の先生方にも承諾いただいた。産婦人科ガイドライン産科編

のコンセンサスミーティング、ワークショップ、例年通り初日午前中に東北産婦人科専攻医会が企画されている。

第 1 回の演題登録では演題申し込み少なかったため各大学に演題登録のお願いをして登録期間を 3/10 まで延期している。ただし演題の分野の偏りがあり、周産期は十分だが、それ以外の腫瘍、生殖、女性医学、内視鏡の演題がすくない。バランスの取れた学会をめざしているためぜひとも登録を。

(5)第 64 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 5）　　星合　哲郎
（第 142 回東北連合産科婦人科学会）

星合先生：

第 64 回北日本産科婦人科学会総会並びに学術講演会は H28/9/17･18 にロイトン札幌を会場に北海道大学櫻木先生会長で開催予定。

八重樫先生：例年通り前日に野球、懇親会の開催を予定。櫻木先生の在任中最後になると思うのでぜひご参加を。

(6)第 143 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会の準備報告（資料 6）　　児玉　英也

児玉先生：

第 143 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会は来年６月１７日・18 日メトロポリタン秋田で開催予定。テーマ等はまだ検討中だが、妊産婦のメンタルヘルスを考えている。

資料 3 に戻る

資料 3(4)　第 70 回日本産婦人科学会・学術集会の準備状況について

八重樫先生：　H30 年の 5 月 10 日～13 日仙台国際センターで開催予定。
H28 年 2 月 12 日に第 1 回プログラム委員会を開催した。

資料 3(5)HUMAN+ならびに Baby+について

八重樫先生：

緑の冊子が HUMAN+。各年代で女性に知ってほしいことということで平成 26 年 9 月に 1 冊 300 円で発刊。

いろいろなイベント等で配布。地方交付金を活用して購入している自治体もある。

昨年出されたピンクの冊子 Baby+でいろいろな問題点があった。

特に問題があったのは分娩施設の選び方のところ(20 ページ)。

他にも問題の箇所がいろいろある。広告も問題がある。これらを改定中です。

今春をめどに配布可能となる予定。

佐藤信二先生：Baby+が追加で欲しいと思ってコールセンターに連絡したがらちが明かず、担当が代わって送るということだったが 2 週間以上経過しても届かなくて、再度連絡してやっと来た。連絡先がコールセンター1 か所しかないのは問題なのではないか。医師会や医療関係の方が連絡する先と一般の方が連絡する連絡先を分けた方がよいのではないか。

西郡先生：ご指摘の通りで改訂版では医療関係者の連絡先を別に分けた項目を作るように改定している。

岡村先生：　新専門医制度について

専門医研修プログラムはどういう形で確認することができるのか。

キャリアパスを作るうえでどこを確認すればいいのか。専門医機構の HP をみればいいか大学の HP をみればいいか。

西郡先生：　ウェブ上で見ることができるようになるとは聞いている。学会の HP になるか機構の HP になるかまだ情報がきていない。

岡村先生：ウェブでみることができるのはいつからか

西郡先生：6 月以降

八重樫先生：提出がいつ

西郡先生：提出はもう締め切られていて、第 1 次選考、第 2 次選考してそれをパスすれば 6 月から募集が開始されるので、そこまでにはウェブ上で公表される予定。

谷川原先生：　専門医の更新について、学会の更新をされた方のどれくらいが機構の新専門医制度で申請されたか。

西郡先生：　半分くらい機構の制度で申請したと聞いている。

(7)その他

なし

4. 協議事項

(1)総会運営委員会委員及び予算決算委員候補者の推薦について（資料 7-1，7-2）

八重樫先生：

東北ブロックでは総会運営委員会委員が 1 名、予算決算委員が 2 名となっている。2 年ごとに役員の改選に合わせてお願いをしていたが今年は２年目なのでそのままの予定。

総会運営委員の谷川原先生引き続きいかがか。

→了承された。

八重樫先生：秋田のほうは寺田先生いかがか。

寺田先生：決算委員は現在の委員の熊谷仁先生が転居のため佐藤朗准教授に変更をお願いしたい。

八重樫先生：受けられるということでよろしいか。

→承認された。

八重樫先生：福島は武市先生が継続ということでよろしいか。

→了承された。

(2)来年度の東北地区産科婦人科学会・医会連絡会について

八重樫先生：

平成 28 年度前半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会は H28 年 6 月 19 日（日）の朝の予定。役員会と合同の予定。

平成 28 年度後半期東北地区産科婦人科学会・医会連絡会：

八重樫先生：

6 大学教授で協議して平成 29 年 2 月 19 日の予定。2 月 26 日は国立大の入試があり、3 月は役員の改選があるので前倒しの予定。

(3)第 145 回東北連合産科婦人科学会総会並びに学術講演会について（参考資料 1,2）

八重樫先生：143 回は秋田で児玉先生、次は青森の予定。

水沼先生：平成 30 年の 145 回は青森で行わせていただく。6 月の岩手の会で詳細について報告予定。

4)その他

八重樫先生：今年 11 月 12 日 13 日に日本産婦人科手術学会を仙台で行うことになった。ぜひご参加を。

和田先生：　後期の医会学会の日程についてだが、医会の理事会と重なるので調整要。

水沼先生：　今年 3 月で退官予定。4 月以降は福島県立医大の藤森先生と一緒に福島県の「ふくしま子ども・女性医療支援センター」に異動することになった。引き続きよろしくお願いします。

八重樫先生：よろしいでしょうか。ありがとうございました。

書記：佐藤いずみ